

与論中学校創立70周年を記念して

与論町立与論中学校 校長 大重満明

第二次大戦後の教育の民主化政策により昭和22年(1947)、全国の市町村が義務教育の新制中学校を設置することになりました。昭和21年(1946)から日本の行政権が停止されていた奄美群島(臨時北部南西諸島政庁統治)では新制度への移行が遅れ、与論島においては昭和23年(1948)4月1日與論村立與論中学校が創立されました。今年は創立70周年の記念の年です。

戦後の混乱期において、旧制度から新制度へ移行するのは、いずこにおいても大変な労力を要したようです。新制度の小学校1年～6年は、旧制度の国民学校の初等科1年～6年と対応しましたので混乱は比較的少なかったと思われます。ところが新制度の中学校1年に対応する旧制度は、国民学校高等科1年、青年学校普通科1年、中等学校1年、高等学校尋常科1年など複数の校種に渡っていました。混乱を軽減するために移行措置がとられ、昭和22年(1947)から昭和25年(1950)頃までは新制度と旧制度の学校が混在していました。

では、與論中学校創立の経緯はどうだったのでしょうか。当時の事をよく御存知の方もおられると思いますが、学校沿革をひもといてみると大変興味深いことが書かれてあったので紹介します。

まず、本校の沿革誌には、與論中学校以前の與論村立青年学校と與論村立與論實業高等学校の記録が残されているのに驚きます。旧制度の沿革を残している新制中学校は珍しいのではないかと思われますが、このことから與論中学校創立に当たっての当時の村民の皆様の思いが読み取れます。

旧與論村は教育制度改革の一貫として昭和22年(1947)3月末に與論村立青年学校を廃校にし、同年4月11日、希望制の與論村立與論實業高等学校を開校させました。しかし、同校は財政難により昭和24年(1949)3月末にやむなく廃校させなければならなくなりました。與論村の教育は、前年の昭和23年(1948)4月に創立されていた義務制の與論中学校に希望をつなぐことになったのです。

與論實業高等学校の廃校に当たっては、学校沿革に次のようにまとめられています。

「茲(ここ)に学校、生徒、職員、諸(もろもろ)共に解散離別するに当たり、此(こ)の校前身から代々職を奉ぜられた諸先生方並びに此の学窓を出られた同窓生諸子及び本校に御援助を辱(かたじけ)のうしたる諸先輩有志御一同に對(たい)し深甚(しんじん)の謝意を表し、併せて将来の御幸福を祈念して門札を外すことにした。」

青年学校跡地という同じ敷地(朝戸1134番地)に建設された與論村立與論中学校は、與論村立與論實業高等学校の思いも受け継ぎ、その後、与論町立与論中学校と改称して町民の皆様の教育への望みを託され続け、70年の歴史を歩んで来ました。これからも「最南端は最先端」のキャッチフレーズのもと、更に未来へと進んで参ります。今年9月10日(日)には「創立70周年記念体育大会」を、10月29日(日)には「創立70周年記念文化祭」を開催します。町民の皆様、どうぞ御来校ください。

学校沿革(主なもの)

大正13年 與論村立實業補習学校開設
 大正15年 與論村青年訓練所開設
 昭和10年 與論村立青年学校に改称
 昭和22年 與論村立青年学校を廃校
 昭和22年 與論村立與論實業高等学校開校
 昭和24年 與論村立與論實業高等学校廃校

昭和23年	與論村立與論中学校を創立
昭和30年	校章制定
昭和37年	校歌制定
昭和38年	町政施行により与論町立与論中学校と改称
平成5年	鹿児島県中学校総体サッカー大会準優勝・九州大会出場
平成9年	創立50周年記念式典 並びに新校舎落成式 举行
平成13年	全国学校体育研究優良校表彰
平成14年	パル・ヤドゥイ正門横完成
平成18年	連携型中高一貫教育校に指定 第14回鹿児島県中学校選抜野球大会優勝
平成23年	鹿児島県指定「学力向上」研究公開を開催
平成26年	鹿児島県中学校総体弓道大会個人優勝・全国大会出場
平成28年	鹿児島県中学校総体駅伝大会男子2位・九州中学校総体出場
平成29年	9月10日 創立70周年記念体育大会 10月29日 創立70周年記念文化祭

【奨励会について】 会長：田中 國重

与論翔励会の存在は知っておられる方からも「何をしているのかよく分からない。」という声をお聞きすることがあります。そこで、会の活動について少しご紹介させていただきます。

与論翔励会は「与論教育の振興に貢献すること」を目的として平成13年に設立されました。本会の趣旨に賛同する者で組織され、基本的に一人一万円の年会費（寄付も含む）により運営しております。

活動としては、次の3点を主に活動しています。

- ① 特筆できる向学・研究者への表彰状及び翔励会賞の授与
- ② 特段の教育的活躍及び教育功労者への表彰状・感謝状・委嘱状及び記念品の贈呈
- ③ 与論教育振興に貢献する事業や活動への協力

これまでに、設立以来26年度までに40名の皆様に翔励会賞を授与し与論町で学ぶ児童生徒を励まして参りました。

与論高校においては、全校生徒を対象に意欲の高揚につながるものとして、年度当初の全校朝会でその意義を直接説明し、翔励会賞（30万円）を贈与することを続けています。昨年は、「難関大学受験ゼミ補助」「夏季受験勉強合宿補助」等に活用され、保護者の負担軽減や生徒の学ぶ機会拡充への支援がなされ、進路実績も充実しています。特に平成23年度の卒業生の進学率については南日本新聞社が大きく取り上げていただきました。平成28年度も職員一丸となって朝や夕方の課外指導や個別指導、そして部活動等の教育活動を充実していただき、それぞれの進路実現を果たし次なる目標に向かって43名が卒業しました。

また、平成28年度からは小・中学校の英語・漢字検定への補助を始めました。平成29年度は、中学生1名へ翔励会賞を授与し、今後はでっかい夢語り大会の共催、与論観光大使への記念品贈呈、ふるさと留学制度への支援など各種の支援の実施予定です。

今後も、町民の皆様にとともに、多くの方々に会員として参加していただき、よりよい与論町の教育振興の支援ができますことを願っています。

顧問：佐藤 持久 会長：田中 國重

副会長：富 敏紀、志摩 晴文

相談役：池田 テツ、竹内 浩、有馬 節光

各地区与論会長

幹事長：町岡 光弘

事務局長兼書記：田畑 豊範 他役員一同



【中学卒業程度認定試験について】

「中学校卒業程度認定試験」とは、病気などやむを得ない事由により、保護者が義務教育諸学校に就学させる義務を猶予又は免除された子などについて、中学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験であり、合格した者には高等学校の入学資格が与えられるものです。

受験案内の配布は平成29年7月10日～平成29年9月8日です。

詳細につきましては、鹿児島県教育委員会と文部科学省のホームページにも掲載されています。ご不明な点は与論町教育委員会にご相談ください。

【今後の7月・8月の主な行事】

- | | |
|--------|------------------------|
| 20日（水） | 小・中学校1学期終業式 |
| 21日（金） | 那間こども園研究保育 |
| 25日（火） | 小学校水泳記録会 |
| 27日（木） | 理科で学ぼう会 |
| 30日（日） | 成城学園来島（～8月4日） |
| 31日（月） | 社会科フィールドワーク |
| 1日（火） | 小中学校出校日
校長園長教頭合同研修会 |
| 2日（水） | 第5回定例教育委員会 |
| 7日（月） | ライオンズクエスト（会場：与論小） |
| 7日～10日 | パナウル少年の船 |
| 20日（日） | 町民一斉清掃の日 |
| 21日（月） | 小中学校出校日
教育職員等夏季研修会 |
| 23日（水） | 町民読書の日 |
| 26日（土） | 子ども会大会・でっかい夢語り大会 |



【中学校合唱コンクールがありました】

7月8日に与論中学校で合唱コンクールが行われ、各クラスが練習の成果を發揮し、すばらしい歌声が響きわたりました。

